リリー保険（鶴岡）がFC契約

商品比較システム導入

保険代理業のリリー保険（鶴岡市、長岡正樹社長）は十三日、生命保険総合代理店のアイリックコーポレーション（東京都）とフランチャイズ（FC）契約を締結したと発表した。アイリックが開発した独自のシステムを活用することで、複数の生命保険の商品が同じ基準で比較、閲覧でき、利用者が最適な商品を見つけやすくなる。リリー保険は本県唯一のFCとなり、来年一月末からサービスを始める。

リリー保険は、生命保険十二社、損害保険十一社と代理店契約などを結んで、業務を展開している。アイリックが開発したシステムは、既に契約を結んでいる保険の分析のほか、利用者のニーズに関する情報を入力することで、複数の保険商品が一度に閲覧、比較でき、中立的に最適な商品を紹介していく。アイリックは、「保険クリニック」の名称で来店型の保険販売店を全国展開しており、今年十月末現在で全国七十五社とFC契約を結んでいる。

リリー保険は来年一月三十日に、鶴岡市の本社内に「保険クリニック鶴岡店」を開設し、サービスを開始する。その後、山形店などを開設していく予定。リリー保険は荘内銀行と提携関係にある。